

カノープス

『カノープスとは!』・・・星の名前で、別名を布良星(めらぼし)といい、りゅうこつ座の一等星です。本土ではほとんど見ることのできない星ですが、沖縄では、冬、南の水平線の上に七色に光を放ちながらキラキラと輝いています。中国では、この星を見ると長生きできるとされ、長生星、南極寿星(ことぶき星)などと言われているそうです。

発行日 平成19年1月31日(水)
 発行所 社会福祉法人 栄寿の会
 介護老人保健施設 栄寿園
 住所 平良市字下里 2662番地
 TEL(0980)-73-6481
 FAX(0980)-73-6483
 編集 栄寿園カノープス編集部

さて、今度の制度改正の側面には、経営のリスクマネジメントを評価し、非効率的でサービスの質の低い法人及び施設は、今後生き残ることが出来ないよう改正されたことが含まれていることです。そのことは施設にとってこれまで以上に体制をグレードアップ、利用者や地域住民の声をよく効きかつ、地域の納得を図りつつ、利用

制度の根幹に係る大改定に追われ、慌しかった成年が去り、新年明けて亥歳を清々しく静かな気持ちで迎える。よし!今年は何事に対しても沈着にして冷静かつ誠実に取り組んでいこうと一年の計を心に刻んだのも束の間。制度見直し関係業務や新年度への以降業務等に追われ、何時しか睦月も残り少なくなっている。(おそまきな新年の挨拶ですが)常日頃より当栄寿園に對しまして温かいご支援、ご協力をお寄せ下さいます多くの皆様方、新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願い申し上げます。

亥歳に寄せて

施設長 塩川 寛令



者主体のサービス提供をはかれとの意図ととらえ、当施設にあっては、既に同命題について役員一丸となり果敢に取り組んでいるところです。

亦、地域型の在宅支援事業については、これまで以上に積極的に地域の事情をよりきめ細かく把握し、地域が求めるサービス事業(地域密着型事業・小規模多機能型事業等)が何かを見極めながら拡大が図れないか新たな展開を模索しているところです。

加えて、老健施設の更なる課題は、①平成二十年スタートの後期高齢者医療制度、②療養病床の受け皿としての取り組み、③ターミナルケアの構築など施設経営に多大の影響必死のテーマ山積みである。

このように、制度のめまぐるしい転換期にあっても当法人・施設は、これからも常に経営の健全性、透明性、利用者本位のサービス提供を追求、利用者のケアアップに精進してまいりますので、旧に倍するご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



【第十八回かりゆし県民フェスティバル「宮古島」】
 「みんなで築こう豊かな長寿社会」をテーマに、第十八回かりゆし県民フェスティバル「宮古島」が十二月十日(日)、宮古島市中央公民館等での開催。宮古島での開催は二〇〇一年以来、五年ぶり。
 子どもからお年寄りまで約一万人の来場者が訪れ世代を超えた交流を深めました。職員は健康相談コーナーを担当し、看護師による血圧測定、理学療法士によるリハビリ体験、介護職員による車イス体験や体脂肪測定、相談員による施設利用相談などで参加協力致しました。

平成17年度 決算

社会福祉法人 栄寿の会
理事長 砂川 盛一

※損益計算書(栄寿の会)H17.4.1~H18.3.31 単位:千円

| 施設運営事業収益 | 合計 | 栄寿園 | 通所リハ | 短期 | 事業所 | センター | 訪問介護 |
|-----------------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1.介護保険施設 a+b+e | 394,928 | 394,458 | 273 | 197 | | | |
| 介護報酬収益 a | 307,998 | 307,998 | | | | | |
| 利用者負担金収益 b(c+d) | 45,578 | 45,222 | 273 | 83 | | | |
| 基本食事サービス料収益 c | 33,275 | 33,013 | 205 | 57 | | | |
| 食事一部負担金 d | 12,303 | 12,209 | 68 | 26 | | | |
| 基本食事サービス料収益 e | 65,626 | 41,238 | | 114 | | | |
| 2.居宅介護料収益a+b | 32,813 | | 24,285 | 5,097 | | | 3,431 |
| 介護報酬収益(居宅) a | 29,650 | | 21,912 | 4,460 | | | 3,278 |
| 利用者負担金収益 b(c+d) | 3,163 | | 2,373 | 637 | | | 153 |
| 利用者負担額 c | 521 | | 2,017 | 472 | | | 153 |
| 食事一部負担金 d | 521 | | 356 | 165 | | | |
| 3.居宅介護支援介護料収益 | 4,006 | | | | 3,804 | | 202 |
| 居宅介護支援介護料収益 | 4,006 | | | | 3,804 | | 202 |
| 4.利用者等利用料収益 | 27,035 | 26,084 | 544 | 407 | | | |
| 介護保健施設利用料収益 | | 11,710 | | 142 | | | |
| 居宅介護サービス利用料収益 | 413 | | 231 | 182 | | | |
| 食費収益 | 23,353 | 9,546 | 313 | 83 | | | |
| 居住費収益 | | 4,828 | | | | | |
| 5.その他の事業外収益 | 8,583 | 2,533 | 83 | 23 | 16 | 5,905 | 23 |
| その他の事業外収益 | 8,583 | 2,533 | 83 | 23 | 16 | 5,905 | 23 |
| 合計(1+2+3+4+5) A | 467,365 | 423,075 | 25,185 | 5,724 | 3,820 | 5,905 | 3,656 |
| 施設運営事業費 | | | | | | | |
| 給与費等 | 283,180 | 237,335 | 20,774 | 6,739 | 4,371 | 7,540 | 6,421 |
| 材料費等 | 36,070 | 32,498 | 3,097 | 466 | 9 | 0 | 0 |
| 経費等 | 44,903 | 39,144 | 2,346 | 550 | 1,148 | 850 | 865 |
| 委託料 | 9,586 | 8,043 | 1,117 | 116 | 80 | 115 | 115 |
| 研修費 | 1,127 | 886 | 136 | 13 | 26 | 53 | 13 |
| 減価償却費 | 26,704 | 25,100 | 1,377 | 29 | 130 | 29 | 39 |
| 本部費 | 1,263 | 1,145 | 58 | 17 | 11 | 16 | 16 |
| 施設運営事業費用 B | 402,833 | 344,151 | 28,905 | 7,930 | 5,775 | 8,603 | 7,469 |
| 施設運営事業損益 A-B | 64,532 | 78,924 | -3,720 | -2,206 | -1,955 | -2,698 | -3,813 |
| 施設運営事業外収益 | 286 | 259 | 13 | 4 | 2 | 4 | 4 |
| 支払利息 | 11,285 | 10,223 | 519 | 147 | 102 | 147 | 147 |
| 施設資金積立金繰入 | 20,016 | 18,135 | 921 | 260 | 180 | 260 | 260 |
| 損益差額 | 33,517 | 50,825 | -5,147 | -2,609 | -2,235 | -3,101 | -4,216 |

※貸借対照表(栄寿の会)H18.3.31 単位:千円

| 資産の部 | 金額 | 負債の部 | 金額 |
|----------|-----------|------|---------|
| 流動資産 | 294,977 | 流動負債 | 91,850 |
| 固定資産 | 520,756 | 固定負債 | 491,846 |
| 基本財産 | (396,265) | | |
| その他の固定資産 | (124,491) | 純資産 | 232,037 |
| 合計 | 815,733 | 合計 | 815,733 |

※財産目録(栄寿の会)H18.3.31 単位:千円

| 資産の部 | 金額 | 負債の部 | 金額 |
|-------|---------|--------|---------|
| 現金・預金 | 221,299 | 流動負債 | 18,746 |
| 基本財産 | 396,265 | 短期借入金 | 40,000 |
| 運用財産 | 1,200 | 固定負債 | 338,965 |
| 仮払金 | 60 | 預り金 | 3,185 |
| 未収金 | 72,538 | 未払費用 | 19,919 |
| 立替金 | 6 | その他借入金 | 10,000 |
| 棚卸資産 | 1,074 | 退職引当金 | 57,865 |
| 前払金 | | 建設引当金 | 95,016 |
| 機械備品等 | 95,291 | 負債合計 | 583,696 |
| 建設仮勘定 | 28,000 | 純財産 | 232,037 |
| 合計 | 815,733 | 合計 | 815,733 |

※借入金元金返済額39,542(千円)(琉銀他)

パワーリハビリテーションとは！

通所リハビリテーション室長

理学療法士 平良 哲也

「パワーリハビリテーション」とは、6種類のトレーニングマシンを使用してトレーニングを行うリハビリテーション手法のひとつです。

これらのトレーニングマシンは、使用中における利用者様の安全性を徹底して追求したマシン類であると同時に、本格的な筋力トレーニングや、病院内でのリハビリテーションに用いる目的で開発されたマシンです。

パワーリハの特徴

① 2・5kg～10kgまでの非常に軽い負荷のみを使用し、ゆつくりとした運動を行うこと

② 筋力強化が目的ではないこと

③ 立位歩行の安定・立ち上がりや着座動作の改善・姿勢の改善・肩や肘関節周囲の機能強化

④ 日常生活動作の安定

⑤ 意欲の向上・認知症の改善

などの特徴・目的を併せ持った、高齢者向けに新しく開発されたトレーニング方法です。



↑シートに座って、脚を伸ばす運動。立ち上がり動作が楽になります。歩行が安定します。

↑身体（体幹）を曲げたり伸ばしたりする運動。立ち上がったたり座り込む動作が楽になります。



↑膝を伸ばしたり、曲げたりする運動。立ったり歩いたり、階段の昇り降りが楽になります。



↑脚を広げたり、閉じたりする運動。歩行のバランスがよくなります。排泄動作が楽になります。



↑「グリップ」を身体の方に押し出す運動。上半身を支える力がつきます。呼吸機能が改善されます。



↑前方のハンドルを手前に引く運動。姿勢が良くなり、歩行が安定。猫背が改善します。

トレーニングマシンを使用する際の訓練を開始するには、利用者様の健康状態や身体機能を踏まえ、医師の指示を受け「パワーリハビリテーション」実施の可否を決定した上で、トレーニングマシンの選択・負荷の決定を行います。

また、「パワーリハビリテーション」は基本的に3ヶ月を一区切りとして行いますが、訓練開始時・中間期・3ヶ月経過時には定められた様式での運動機能の評価を行います。

「パワーリハビリテーション」の実施に関してご不明な点がございましたら、左記までご連絡なくお問合せください。

栄寿園通所リハビリテーション室長

理学療法士 平良 哲也

電話：736481（内線500番）

2006年の思い出

